

はじめに

プラン作成の背景と目的

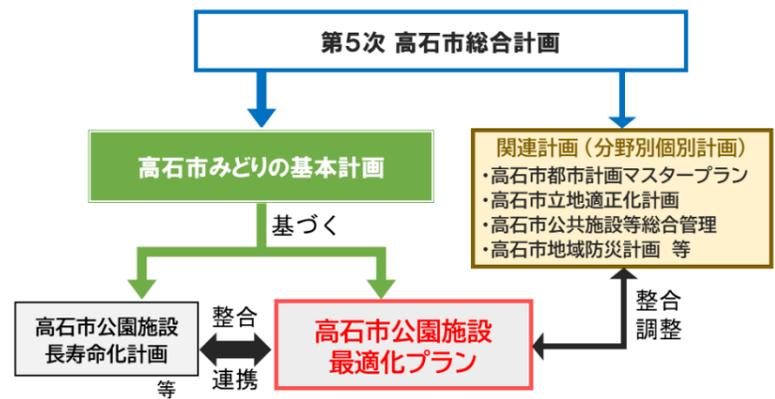
公園は、都市において多くの重要な役割と効果を持つ施設です。

「高石市公園施設最適化プラン」(以下、本プラン)は、本市の公園を取り巻く現状とこれからの見据え、公園及び公園施設の効果的で適切な維持管理に関する基本的な方針等を定めるものとして作成します。

本プランを多様な担い手が公園管理に関わるための第一歩と位置づけ、取組を通じて、市民等とともに魅力的な公園のあるまちの実現を目指します。

プランの位置づけ

本プランは、「高石市みどりの基本計画」を上位計画とし、遊具等施設の計画的な補修改築等に係る「高石市公園施設長寿命化計画」等と整合を図り、連携しながら公園行政を推進します。



プランの対象公園

本プランは、都市公園(事業中を含む)及びその他公園等全 82 公園を対象とします。

区分	種別	小学校区							合計
		高石	羽衣	高陽	取石	東羽衣	清高	加茂	
都市公園	街区公園	2	13	9	9	10	8	11	62
	近隣公園	2	9	9	8	8	6	9	51
	地区公園				1			1	2
	都市緑地		4			1	2	1	8
その他公園等	ちびっこ広場等	3	5	3	1	5		3	20
	その他広場	1	3	1	1	3		1	10
	その他広場	2		1		2		2	7
	その他緑地		2	1					3
合計		5	18	12	10	15	8	14	82

※現在閉鎖中の公園等及び廃止予定の高砂公園を除きます。
 ※その他、市域には大阪府が整備、管理する浜寺公園及び泉北臨海緑地や市が保有、管理する広場等があります。

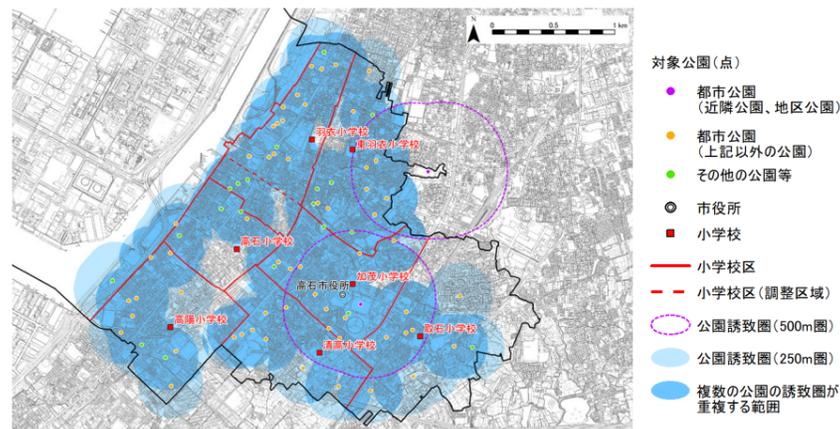
高石市の公園を取り巻く現状と課題

高石市の公園の現状

公園開設の推移 本市では、鴨公園(昭和 45 年開設)をはじめ、1970 年代から 80 年代にかけて多くの公園が整備されてきました。令和 6 年時点で、開設後 25 年以上経過している公園が約 6 割を占めています。



誘致圏 対象公園の誘致圏は全体の約 90%をカバーしており、居住地の大半において、身近に公園がある環境が確保されている状況です。



公園を取り巻く課題

◆厳しい行財政状況下における公園管理

行財政の厳しさが増す中、予算や人員を全ての公園に等しく配分していくことが難しく、管理が困難となるおそれがあります。

◆利用ニーズの変化への対応

既存の公園を最大限に活用し、市民等の多様なニーズに応える公園づくり、管理を進める必要があります。

維持管理費 公園の維持管理費は近年増加傾向にあります。維持管理費のうち、事業者への委託費は全体の 3~4 割程度で推移しており、管理の比率が高くなっています。

公園ボランティア支援制度

公園愛護会及びアダプト・プログラムを通じて、対象公園の6割超(52公園)について、地域の協力を得て管理を進めています。

公園愛護会

市全体 **30** 団体

市民が、ボランティアとして地域の身近な公園の美化活動や管理を行う制度

主な活動内容

- 清掃等の美化活動
- 除草や軽度の剪定等の保全活動
- 施設の破損等の連絡等

主な支援内容

- 活動に必要な用具類の支給
- 活動費の支給等

アダプト・プログラム

市全体 **8** 団体 (公園を対象とした活動)

市民が道路・公園・河川等の公共施設の里親になり、ボランティアで美化活動や管理を行う制度

主な活動内容

- 清掃等の美化活動
- 除草や軽度の剪定等の保全活動等

主な支援内容

- 活動に必要な用具類の支給
- アダプト実施表示板の設置等

公園の利用状況、市民ニーズ

市民アンケート 令和6年7~8月実施	市民や小中学生へのアンケートより、ごみの散乱やトイレの汚損、雑草など管理に関する課題が挙げられました。また、子どもがのびのびと遊べる公園や防災拠点の役割を持つ公園についてニーズがあることが分かりました。
関係施設ヒアリング 令和6年8月実施	子育て支援施設へのヒアリングでは、身近に自然に触れ、遊べる場として、市内の公園を日常的に利用していることがわかりました。また課題として、幼児向けの遊具の少なさや、安全面、衛生面に関する不安等が多く挙げられました。
利用者ワークショップ ①令和6年11月実施 ②令和7年1月実施	ワークショップでは、公園管理の担い手の高齢化や情報不足が課題に挙がりました。また、「アピール」「周知」「みんなで」等をキーワードに、公園での市民の活動やつながりを広げることが重要との意見を頂きました。

◆利用者が安心して使える公園の確保

誰もが安心して公園を使えるよう、老朽化対策や安全面等における維持管理の水準を一定確保する必要があります。

◆持続可能な公園管理体制の構築

多様な主体が公園管理に関わり、行政と市民が一体となって公園づくりを進めていくための体制を整えることが必要です。

最適化の将来像

地域の魅力を高め、交流をはぐくむ高石市の公園をみんなで活かし、育てつづける

最適化の基本方針及び最適化戦略

方針1

仕組みの最適化

効果的で効率的な公園管理体制の確立

<最適化戦略1> 公園の類型及び機能に応じた計画的な整備、維持管理

(1)公園の類型化

市民の財産であり、都市の貴重なオープンスペースである公園の維持を基本として、利用状況や特性に応じて公園を類型化(タイプ分け)し、公園類型に応じた維持管理及び整備等の方向性を定めることで、管理の効率化を図ります。

4つのタイプの公園に類型化

(2)公園類型及び管理方針

拠点型公園
人々が集い、多様な活動が展開される高石市を代表する公園
《管理方針(抜粋)》
・多様な利活用を支える公園機能の維持、向上を図ります。
・公園間の機能分担を図り、老朽化した施設の更新、集約先として検討します。

機能特化型公園
地域(小学校区)の核となり、公園に関わる様々な地域活動の中心となる公園
《管理方針(抜粋)》
・行政と地域が連携し、柔軟な利活用ができる公園づくりに取り組みます。
・特化する機能に応じた施設への転換、充実を推進します。

管理維持型公園
当面、現状を維持する公園 ※老朽化等を考慮し、将来の施設廃止等の可能性もあり
《管理方針(抜粋)》
・地域と協力し、現状確保のための管理を当面継続します。
・老朽化した施設について、更新の必要性を見極めた上で必要な措置を講じます。

管理効率化型公園
地域意向を踏まえつつ、必要最小限の機能(施設)を保持する公園 ※施設の廃止等を含む
《管理方針(抜粋)》
・公園として必要最小限の機能を保持し、維持管理の負担軽減に優先して取り組みます。
・機能の維持に直接関わらない施設の見直しを進めます。

(3)整備等に関する方針

公園施設の更新にあたっては、整備規模や内容に応じて、公園類型を踏まえた方針を以下と定めます。

Table with 5 columns: 区分, 拠点型公園, 機能特化型公園, 管理維持型公園, 管理効率化型公園. Rows include: 大規模改修、リニューアル, 機能確保のための改修、リニューアル, 機能維持のための改修, 日常的な管理における修繕.

○:必要な措置を講じます
△:更新の必要性を見極めた上で、必要な措置を講じます
▲:必要最小限の対策にとどめます(市民等との協働・参加による簡単な修繕等)

方針2

量の最適化

「質」を重視した公園施設の適正管理

<最適化戦略2> 安全・安心・快適に資する公園施設のストックマネジメントの推進

(1)公園施設の最適配置及び管理の推進

同じような施設内容の公園が近接する場合など、公園ごとに分散し、機能が重複する公園施設について、公園類型の管理方針を踏まえ、以下に示す考え方に基つき配置の最適化を進めます。

- ①拠点型公園:公園が近接し機能が重複する場合、特定の公園への施設の集約を検討します。
②機能特化型公園:公園に求める機能を発揮するために必要な施設の他公園からの移転を検討します。
③管理維持型公園、管理効率化型公園:利用者や地域住民と合意形成を図りつつ、施設の更新時期に合わせて段階的に見直しを行うことで、地域の負担が最小限となるよう努めます。

(2)計画的な施設管理及び総量の抑制

計画的な点検や予防保全型管理の導入等の長寿命化対策を講じ、既存施設を長く活用することで、安全性や利便性を維持しつつ、公園施設の抑制を図ります。

▶公園施設の最適配置かつ総量抑制による公園管理コストの削減効果:現状(実績)の約3割減と試算

(3)公園が有する多面的機能の向上、活用

防災・防犯、バリアフリー、都市景観等に寄与する公園の多面的な価値を高め、自然環境を活かした都市の課題解決を目指す「グリーンインフラ」としての役割を確保、強化し、持続可能な都市づくりを推進します。

方針3

担い手の最適化

持続可能な公園を支える担い手づくり

<最適化戦略3> 市民、団体、事業者等と連携した公園管理の拡充

(1)官民連携手法の導入による管理運営の強化

民間の優れたノウハウや資金を活用し、公園を適正に維持管理するため、指定管理者制度や包括的管理委託等の官民連携手法の導入を検討します。

(2)市民とともに活かし、育てつづける公園づくり

市民と行政の連携、協力体制を構築し、市民とともに公園の活用や管理に取り組むことで、一人ひとりが公園の価値を実感し、愛着を持ち、地域の貴重な財産である公園を次世代へと受け継いでいきます。

- ①公園ボランティア活動の活性化
②多様な主体との協働、連携による公園管理の担い手の拡大
③市民と取り組む多様な公園活動の提案、実践

これからの取組

先行実施プロジェクト(案)

(1)市民参加による機能特化に向けた先行モデル公園の整備等の推進

公園類型(案)に示す機能特化型公園のうち、以下の3公園を「先行モデル公園」と位置づけ、市民参加による先行的整備及びイベント等を進めてまいります。

①大歳公園(西取石地区)

樹木の寄付を活用し、適切な植え替えを行うとともに、市民と育てるコミュニティガーデンを設置する予定です。公園愛護会や地元関係団体等と連携しながら、地域の皆様とともに公園を育てていくことを目指します。

②高師浜公園(千代田地区)

子どもたちが安心してボール遊び(ドッジボール等の危険性の低い遊び)を行える場づくりとして、公園西側の広場周辺へのフェンスの設置を進めます。地域の皆様との連携、共存を図りながら、安全で快適な公園環境の創出を目指します。

③羽衣コアラ公園(羽衣地区)

近隣住民の交流活性化や公園への愛着心の醸成、清掃活動への参加促進等を目的としたイベント実施の成果も活かしつつ、今後も公園ボランティア活動の輪を広げ、全世代が関わりを持ち、市民と支えあう仕組みづくりを目指します。

(2)公園づくり担い手ネットワークの構築

市民や関係団体、事業者等との対話を継続し、担い手としてパートナーシップの強化に取り組みます。その一環として、公園愛護会やアダプト・プログラム認定団体間の協力体制を強化するとともに、公園ボランティア活動に携わる市民との連携を深める担い手ネットワークを形成します。

